

ONE STONE 生徒が進める三者面談

教員研修として訪れている
ONE STONE High School。学
んだことをどうSOLANの教育
活動に落とし込むことができる
のか。大量で濃密な情報を頭
に入れながら、あれこれ考えな
がら日々を過ごしています。



写真でいろいろとお伝えした
ところですが、著作権や肖像権もあるので写真は少なめです。

さて、SOLANでは二者面談、学年が上がれば三者面談がありま
す。ONE STONEにも三者面談があります。でも、内容は違います。

主役は子ども。

そこに保護者とメンターが同席します。保護者は口をはさまずに聞
いていると言われるようです。不思議な面談ですよね。

その子は面談で自分の学びを発表します。活動の内容をまとめたも
のをプレゼンするのです。内容を発表するだけではありません。

「成長したポイント」を語るのです。

成長物語と言い換えてもいいかもしれません。そして、最後にその子が問うのです。

「こんな私はどうですか？」と。

今回はその物語を聞く機会を得ました。

目の前にいるのは、ほぼ「はじめまして」の生徒です。**語られるのは多種多様な活動、その活動を通しての成長。**成長を追いかけない自分が聞いても、胸が熱くなってきました。

自分にとって衝撃的な体験でした。

「こんなことをして、こう思った」なら語りやすいです。でも、**「こんなことを通して、こう成長・変容したのだ」**と語ることができるのは尊いことだと思います。

成長を実感しているからこそ、多くを語ることができるのだろーと思います。

さて、これをSOLANで実現するにはどうするのか。そもそも実現する必要があるのか。実現するとしたら、何が必要か。

いろいろと考えてみます。

校長先生とのディスカッションの中で印象に残ったことは

Hot(成功・強み) / Not(課題や弱み) / Next(今後の計画・対策)

成長物語を作る際に「上記の3要素で活動を振り返りなさい」と伝えているとのこと。SOLANの探究の振り返りと構造が同じでした！高校生なので、振り返る「桁」は違いますが、覚えやすいフレーズなのが印象的でした。